

子どもの創るまち —ミニ・ミュンヘンと未来ポーロ

富山大学人文学部
准教授 大西宏治(人文地理学)

子ども世界の変容とまち体験の必要性

子どもを巡るP

- Private 私的な空間を過ごす子ども時代
- Program 決められた生活活動
- Peaceful 過剰なまでの安全志向



子どもの生活空間の時代変化

- 屋外から屋内へ
- 「身近な空間を濃密に」から「多様な活動へ」
- ケガの責任は自分ではなくなった

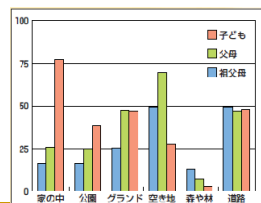


図1 小学生時代によく遊んだ遊び場(複数回答)

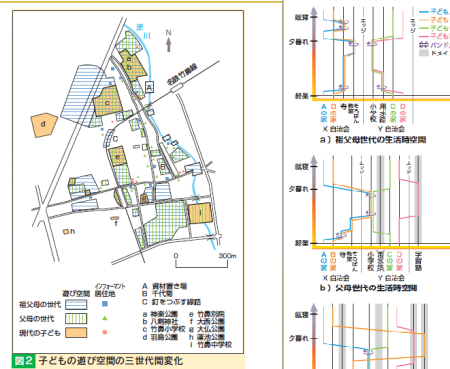


図3 子どもの生活空間ダイヤグラムの時代変化

子どものまち体験の不足

- 遊び空間の屋内化
- 少子化による友人の人数・多様性の減少
- 過度な安全志向による外出機会・場所の限定



- 子どもたちに「まちに暮らす実感」が生まれない
- 将来の市民としての自覚が生まれない



- 子どもが社会やまちの仕組みを体験する仕掛けが必要となる

この報告の目的

- 子どもが社会やまちを体験するイベントとはどのようなものなのか、その事例と意義を説明する
- 事例のまちは
ミニ・ミュンヘン(ドイツ・ミュンヘン市)
未来ぽ〜ろ(富山市・中央通り商店街)

ミニ・ミュンヘン

- 子どもたちに社会の仕組みを体験してもらうという取り組み
- ミュンヘン市で2年に1回行われる
- 8月に3週間だけミュンヘンに現れる7歳～15歳までの子どもだけが運営する「小さな都市」(Spielstadt Mini-München直訳すると「遊びの街ミニミュンヘン」)。
- 約20年の歴史がある取り組み(1979年から継続実施)
- 世界各国で類似のイベントが行われる(日本ではミニさくらなど)

ドイツ・ミュンヘン市



2006年のミニミュンヘン

- 期間: 2006年8月1～19日
- 場所: ミュンヘンオリンピック公園 イベントアリーナ
- 時間: 11時～18時まで
- 休み: 日曜日と月曜日
- 主催者: Kultur&Spielraum e.V. (文化と遊びの空間) ミュンヘン市の委託事業



小都市ミニ・ミュンヘンの形態

1. 市民の登録

ミニ・ミュンヘンに訪れたら、まず市民の登録をする。

- a) 普通の市民として暮らすために→オリエンテーションを受ける(街の仕組みを知る)
- b) 上級市民になるために→4時間の仕事、4時間の勉強(喧嘩アカデミーなど)、試験
上級市民になると①被選挙権、②運転免許証、③営業許可証、④土地所有権が得られる

2. 自分で働き地域通貨「ミミュ」を稼ぐ



時給は仕事の内容に関係なく5ミミュウ。ただし、1ミミュウは市税として納める。このお金を使い、遊びや食事、ものを買ったりできる。

3. 職を求める

職業安定所に仕事を求める列ができる



4. 働く



■ 上級市民の仕事の一つ・タクシードライバー



5. 市の運営

EINNAHMEN		AUSGABEN	
DATUM	BETRAG	DATUM	BETRAG
4.8.	4.991,-	4.8.	3.337,-
5.8.	7.112,-	5.8.	2.594,-
6.8.	15.328,-	6.8.	2.000,-
7.8.	14.876,-	7.8.	3.629,-
8.8.	14.528,-	8.8.	5.155,-
9.8.	14.528,-	9.8.	3.156,-
10.8.	14.528,-	10.8.	3.077,-
11.8.	14.528,-		
12.8.	14.528,-		
13.8.	14.528,-		
14.8.	14.528,-		
15.8.	14.528,-		
16.8.	14.528,-		
17.8.	14.528,-		
18.8.	14.528,-		
19.8.	14.528,-		
20.8.	14.528,-		
21.8.	14.528,-		
22.8.	14.528,-		
23.8.	14.528,-		
24.8.	14.528,-		
25.8.	14.528,-		
26.8.	14.528,-		
27.8.	14.528,-		
28.8.	14.528,-		
29.8.	14.528,-		
30.8.	14.528,-		
31.8.	14.528,-		
32.8.	14.528,-		
33.8.	14.528,-		
34.8.	14.528,-		
35.8.	14.528,-		
36.8.	14.528,-		
37.8.	14.528,-		
38.8.	14.528,-		
39.8.	14.528,-		
40.8.	14.528,-		
41.8.	14.528,-		
42.8.	14.528,-		
43.8.	14.528,-		
44.8.	14.528,-		
45.8.	14.528,-		
46.8.	14.528,-		
47.8.	14.528,-		
48.8.	14.528,-		
49.8.	14.528,-		
50.8.	14.528,-		
51.8.	14.528,-		
52.8.	14.528,-		
53.8.	14.528,-		
54.8.	14.528,-		
55.8.	14.528,-		
56.8.	14.528,-		
57.8.	14.528,-		
58.8.	14.528,-		
59.8.	14.528,-		
60.8.	14.528,-		
61.8.	14.528,-		
62.8.	14.528,-		
63.8.	14.528,-		
64.8.	14.528,-		
65.8.	14.528,-		
66.8.	14.528,-		
67.8.	14.528,-		
68.8.	14.528,-		
69.8.	14.528,-		
70.8.	14.528,-		
71.8.	14.528,-		
72.8.	14.528,-		
73.8.	14.528,-		
74.8.	14.528,-		
75.8.	14.528,-		
76.8.	14.528,-		
77.8.	14.528,-		
78.8.	14.528,-		
79.8.	14.528,-		
80.8.	14.528,-		
81.8.	14.528,-		
82.8.	14.528,-		
83.8.	14.528,-		
84.8.	14.528,-		
85.8.	14.528,-		
86.8.	14.528,-		
87.8.	14.528,-		
88.8.	14.528,-		
89.8.	14.528,-		
90.8.	14.528,-		
91.8.	14.528,-		
92.8.	14.528,-		
93.8.	14.528,-		
94.8.	14.528,-		
95.8.	14.528,-		
96.8.	14.528,-		
97.8.	14.528,-		
98.8.	14.528,-		
99.8.	14.528,-		
100.8.	14.528,-		

歳入と歳出が掲示



議会でその日に決まったことが掲示

■ 自分で稼いだお金で遊ぶ



戸外の建物の建設



○ミニ・ミュンヘンから学ぶこと

街の調整機能を知ることの重要性 → 仲間同士がどのように街で共生するかを学ぶ

地域通貨を用いてお金の循環と仕事、レジャーのつながりを実感する

仕事をすることに有能観を抱く子どもたち

単なる職業体験だけではなく、まちを自分たちで運営する市民としての主体性を育む

→ キzzaニア東京などの職業体験とは違った意義をそこに示すのではないかな？

未来ぽ～ろ:富山市中央通り商店街

ねらい

富山市中心市街地
まちなか居住施策

↓結果

高層住宅の建設
人口増加地区もみられる

↓しかし

居住者と中心商店街との
かかわりは希薄

↓そこで

居住者にまちのことを知っ
てもらえるイベントを



住民にまちを知ってもらうには？

～子どもを介してまちを伝える

- 子どもたちに中央通り商店街を体験してもらおう
- 子どもたちのまちなかの認識やまちの仕組みの理解が促進したり愛着が生まれたりする
- 親にもまちのことが伝わり、住民のまちとのつながりが深まるのではないかと

↓
未来ぽ～ろの企画と実施

主催:未来ぽ～ろ実行委員会
中央通り商栄会

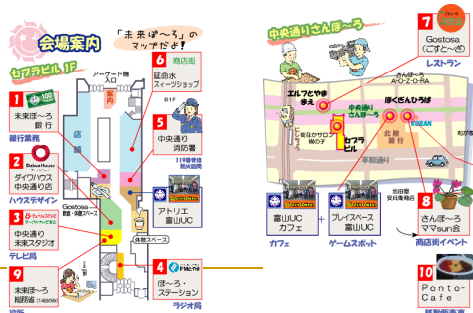
2009年が初の試み



未来ぽ～ろ

大人へはまかせておけない場所がある

- 2009年11月14日(土)、21日(土)に実施(第1回)



参加の仕組み

- 参加証・仕事の証明書



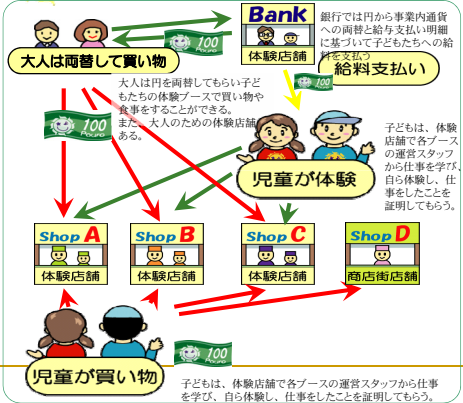
- 事業内通貨の設定



未来ぽ～ろ

まかせておけない場所がある。

体験概要



様々な仕事や活動を体験



エコ住宅の開発



ぽ～ろステーションの運営



消防署の体験



総務省・景観整備?と通貨発行

子どもだけの閉じたイベントで終わらない

- 商店街を行く人たちとの触れあい
- 商店街に子どもの声が響く
- 地域住民に「何かやっている」ことが伝わる



子どものまちの意義

まちを育てる市民をはぐくむ

- 現代の多様なライフスタイル
まちの仕組み、運営を考える機会の喪失
- 子どものまちの運営体験から得られるもの
まちの仕組みや運営を知る機会(知識の獲得)
自分たちでまちを創る経験(有能感の獲得)
- 将来のまちづくりの担い手の芽をはぐくむ
自分たちが動けばまちが変わると考えることができる市民がうまれないだろうか?